

施策番号 3-3-2	施策名	高齢者福祉の充実	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり		
	主管課	高齢者支援課	政策名	住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の充実		
	施策関係課	健康福祉課	課長名	坂口 勝己	内線	156

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
高齢者の方々の健康づくりや社会参加を推進し、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるような適切なサービスを提供します。		高齢者(65歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の健康づくりを推進する</li> <li>高齢者の活躍と社会参加の推進を図る</li> <li>暮らしの安心と不便の解消を図る</li> <li>適切なサービスを利用できるようにする</li> </ul>					高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	
① 高齢者にとって暮らしやすいまちだと思う高齢者の割合	住民意識調査	%	77.5	61.3	72.3	66.6	65.6	81.8	
② やりがいのある趣味や運動、仕事に取り組んでいる高齢者の割合	住民意識調査	%	56.6	69.3	68.3	68.9	69.6	64.2	
③ 芽室町の福祉サービスに満足している高齢者の割合	住民意識調査	%	90.7	75.9	84.4	71.4	78.2	92.0	
④									
成果指標設定の考え方	① 高齢者が暮らしやすさを感じる客観的数値を捕捉する必要があり、成果指標に設定した。 ② 活動的な高齢者の割合が増えることが介護予防につながるから、成果指標に設定した。 ③ 町内で提供される福祉サービスに対する高齢者の満足度を捕捉する必要があり、成果指標に設定した。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) 各成果指標とも策定時の数値を上回ることを目指し、目標値を設定した。								

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	1,795,892	1,899,174	1,937,565	1,903,550	1,871,251
人工数(業務量)	10.3883	10.2964	9.8679	8.6358	7.7604

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
① 2022年度の成果評価(前年度との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標②・③は介護・医療施設によるサービス提供のほか、介護予防事業や高齢者団体への活動支援等によるもの、①は移動手段等の生活に密着した課題等が顕在化しているものと考えます。
② 第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	3つの指標中、目標を達成した指標は1つにとどまったことから、目標は達成できなかったと評価した。 成果指標②は、介護予防体制の充実を図ったこと等により目標を達成できた。 ①・③は選択肢数の変更の影響を受け、目標値と大きな乖離が生じたことから目標達成には至らなかったが、計画期間中は概ね微増傾向にあり、安定した介護基盤を支える介護保険制度、在宅介護を支える施策、介護予防の取り組みが徐々に評価されたものと考えます。
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	介護予防教室開催事業 支え合いの町づくり人材育成事業 地域包括ケアシステム推進事業	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	・「介護予防教室開催事業」～気軽に通える介護予防教室を導入したことにより、住民主体の通いの場から送迎付きの介護予防教室まで、高齢者の心身の状況が変化しても途切れることなく支援する体制が整えた。 ・「支え合いの町づくり人材育成事業」～介護サービス安定化のための人材確保や育成のみならず、教育分野や各種団体へ介護事業の必要性について理解を求める取り組みや、学生の介護現場を体験する事業等、事業拡大が図られた。 ・「地域包括ケアシステム推進事業」～地域包括支援センターの委託化に伴い、職員による高齢者を取り巻く課題の変化や問題の早期発見、複雑化した対応に向けた取り組みを強化した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課 評価	介護予防事業の拡充や介護予防の重要性を啓蒙する活動を通じ、高齢者の健康づくりや社会参加が図られ、また、早期相談体制の取り組みを通して、高齢者の状況に応じた適切な介護サービス提供が図られたと考える。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A: 実現した      B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した      C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した  
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した      E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

#### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者人口の増加、人口減少、世帯構造や家族の関係性の変化</li> <li>・介護基盤を担う人材確保の深刻化</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響の長期化</li> </ul> <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者人口増加に伴い介護サービス需要の増加</li> <li>・人口減少や世帯構造の変化に伴う複雑化する問題の増加</li> <li>・現役世代減少に伴う、安定した介護保険制度の継続や人的基盤確保への一層の対応</li> </ul>
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<p>住民から: 介護予防の取組みや高齢者の社会参加の機会充実について意見がある。→身体状況や認知機能の把握を促す取組みや、生活支援コーディネーターの活動により社会参加の活動を支援した</p> <p>介護事業者から: 介護人材の確保に非常に苦労していることや、物価高騰に伴う経営圧迫について意見がある。→介護人材の確保に向けて、多面的な取組みを展開した。</p> <p>議会から: 介護人材不足の対応策について更なる取組みが必要であるとの意見がある。→本町独自の取組みのほか、様々な機会を利用して国や北海道に対し、介護人材不足への対応を要望した。</p>

#### 5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<p>多くの町民の共通の願いである「できる限り住み慣れた地域で暮らしたい」とこの実現のため、「介護予防と生活支援、介護・医療」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の推進を図るため、特に次の事業について取り組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まる元」運動教室をはじめとした切れ目のない介護予防事業の実施と更なる展開</li> <li>・健康状態不明者等、潜在する支援が必要な方への訪問による、社会参加促進及び孤立化防止</li> <li>・各種団体への訪問による、健康教育や健診受診勧奨</li> <li>・社会的支援を要する制度の狭間にある困難ケース増加への対応</li> <li>・安定的な介護サービス体制確保のための、介護事業の魅力発信や制度啓発、介護人材の量的確保の支援</li> <li>・自治体DX推進構想に基づく、デジタル技術の活用</li> </ul>
---

#### 6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に「前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	高齢者支援について縦割りではなく、関係課や民間とも連携して進めてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					

#### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価同様に「前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と若い人を繋ぐ場があると良い。</li> <li>・高齢者の移動手段の確保と除雪は重要である。</li> <li>・縦割りではなく他課と連携して進めてほしい。</li> <li>・高齢者の団体に対して財政面等における支援をするべきではないか。高齢者の社会参加が介護予防や健康寿命の延伸に繋がると思う。</li> </ul>	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					